

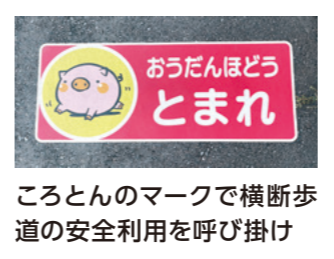
安全な通学路は ルールの厳守と やさしい気持ちから



時間指定や速度制限を示す看板



歩行者が通行できる範囲を示すグリーンベルト



大型車両の通行困難看板

問 通学路の安全については学校教育課
 027・898・5864
 通学路の補修については道路管理課
 027・898・6826
 交通ルールについては交通政策課
 027・898・6263

ちよつとした心掛けが事故を防ぐ

車両を運転するときは

● **横断歩道は歩行者優先**
 歩行者が横断歩道を横断中や横断しようとしている時は、その横断歩道の直前で一時停止しなければなりません。また、横断しようとする歩行者などが明らかにいない場合を除いて、横断歩道に接近する場合は、横断歩道などの直前で停止できるような速度で進行しなければなりません。



● **確実な一時停止を徹底する**
 一時停止のある交差点では、停止線の直前で止まって安全確認を。さらに見通しの悪い交差点では、交差点に進入する直前や車道に進入する直前で止まり安全確認をしてください。この時に、歩行者や自転車の通行も意識して確認を。

● **「かもしれない」を考えて「だろっ」をなくす**
 交差点から子どもが飛び出してくるかもしれません。特に、見通しの悪い交差点では速度を落とすなどの対策を。「飛び出しはないだろう」と都合の良い予測で安全対策を怠ることが、交通事故を起こします。

自転車も車両の仲間

昨年、市内で発生した自転車に関係する交通事故の内、交差点内で発生したものは約7割でした。自転車も車両の仲間。一時停止などのルールを守ってください。



通学路合同点検の様子

● **通学路は合同点検で安全確認**
 子どもを交通事故から守るために、学校交通安全連絡協議会を設置。市や各学校の代表者、PTA、警察署、交通安全協会、交通指導員などが協力し合い交通安全のために活動しています。

同協議会では自治会なども連携し、通学路交通安全プログラムを策定。このプログラムにのっとり、通学路合同点検を実施しています。夏休みの期間などを利用して、実際に通学路を歩き現状を共有。危険箇所は対策を検討し、通学路の安全性向上を図っています。

守れていますか？

通学路には標識がたくさん

上の写真のように、通学路には、多くのサインがあります。どれも子どもたちを守るために重要なサインです。また、左の写真のようにスピードを落とすよう促す看板を掲示しているところもあります。無理な運転は避けてください。



安全のために取り組んでいること

市では、道路に関する地域からの要望について通学路を優先に対応をしています。また、未就学児童の集団移動に伴う安全点検や、大きな交差点などへの防護柵設置などの道路整備を進めています。

令和元年には滋賀県大津市の交差点内で散歩中の保育園児らが自動車事故に巻き込まれ16人が死傷する大事故が起きています。このように、小学生の通学路だけでなく未就学児童が集団で散歩などに利用する道路もあります。保育園や児童館、学童保育の近くでもより安全でやさしい運転を心掛けてください。

「大丈夫！ 自己の過信が事故招く」。これは、昨年度県交通対策協議会が実施した、交通安全標語コンクール・子どもの部の最優秀賞の標語です。子どもたちも見ています。一人一人の心掛けて交通事故は大きく減少します。運転免許を取得した時の気持ちを思い出し、安全運転を徹底してください。

全国交通安全運動で交通安全を再確認

9月21日(火)から30日(木)まで、秋の全国交通安全運動を実施。また、30日(木)は交通事故死ゼロを目指す日です。交通ルールとマナーを守り、交通事故の防止と安全運転意識の向上に努めましょう。また、飲酒運転は重大交通事故に直結する極めて悪質・危険な犯罪です。「飲酒運転をしない、させない」を徹底してください。